

研究開発プログラム評価の新たな仕組みに向けて

令和 2 年 1 1 月
航空科学技術委員会事務局

1. 航空科学技術委員会における方針（案）

視点 1：分野別戦略・計画の策定について

- ・ 2021 年度（令和 3 年度）末を目途に航空科学技術委員会において航空科学技術分野戦略・計画を策定する。
- ・ 2021 年度（令和 3 年度）中に航空科学技術分野に関する研究開発ビジョンを策定するべく検討を進めていることから、現行の研究開発計画の構成を参考に、同ビジョンを最大限活用・引用する形で策定する。

視点 2：EBPM のベースとなるエビデンスと、分野別戦略・計画及び分野別プログラムの関係性について

- ・ 分野別プログラムの策定においては、航空科学技術分野に関する研究開発ビジョンの内容を踏まえつつ、現行の研究開発プログラムと同様に、分野別戦略・計画の中目標に相当するものを評価単位とする。
- ・ 分野別プログラムに盛り込むエビデンスとしては、①昨年度に実施した研究開発プログラム評価の試行的実施と同様に委員会において委員のご意見を頂くとともに、②国内外の動向、社会的要請、出口側からのニーズ並びに JAXA の研究者から研究組織や現場における工夫、実験等で得られた付随的な成果や課題、別の分野との連携など研究推進を考慮するにあたって大切な様々な意見を聴取して、必要に応じてこれを充実させていくことが可能と考えられる。さらに③については、今後の分科会での議論を踏まえつつ、人材育成、国際協働、研究開発環境・基盤の整備など長期的戦略との関連性など、客観的な視点で状況把握ができ、且つ、航空科学技術分野全体と個別の課題の関係性を理解することのできる情報を充実させるとともに、④日本の航空関連産業の持続的発展に向けてイノベーションを活発化させるために、短期な成果の評価には馴染まない長期的な技術開発研究課題に取り組む必要性を示すことに努めていくものとする。